

### ドックフロアをリニューアル 快適で効率的な受診環境へ



落ち着いた雰囲気の一階受け付け(上)、明るい採血コーナー(下)



健康クリニックは、平成28年度末からドックフロアの改修工事を行い、4月10日にリニューアルオープンしました。

今回は、安全で快適な受診環境の整備と効率よく受診できる検査機器の配置、受診者のプライバシー保護といった視点に立ち、人間ドック学会の改善推奨事項も踏まえて、一階と2階に分散していた受付を1階に集約し、受付及び精算などの業務を一元化しました。

2階は、採血コーナーを明るい窓際に移し、採血で気分が悪くなつたことのある方や不安の強い方が横になって採血できる設備も整えました。超音波検査室も1室増設して個室に改修し、心電図室を2室にしました。フロア全体でスタッフの導線を考慮し、検査室を合理的な配置に変更しました。さらに、各検査室に通

し番号のプレートを設置して、受診者が分かりやすく、効率的な誘導ができるようにしました。

受診者の評判も概ね好評で、「待ち時間が短縮されスムーズに受診できた」「検査を待つている間も落ち着いて過ごすことができた」といったご意見をいただいております。

今後、安全で快適な健康づくりの役立つ人間ドックや健康診断が提供できるよう、継続的なドックフロアの見直しや検査機器の更新、予約システムの改善など職員一同努めてまいりますので、今後とも健康クリニックをぜひご利用ください。  
(健康クリニック)

今後も安心して快適な健康づくりの役立つ人間ドックや健康診断が提供できるよう、継続的なドックフロアの見直しや検査機器の更新、予約システムの改善など職員一同努めてまいりますので、今後とも健康クリニックをぜひご利用ください。  
(健康クリニック)

当協会では、県民の健康寿命の延伸をめざした構想の一環として、平成28年度からキャラバンフィットネス事業を展開しています。このたび、5月8日に世羅町小国店、5月11日に熊野店が新規オープンしました。昨年度オープンした早瀬店、安浦店と合わせ、県内4店舗で事業を展開します。

### 世羅・熊野に新店舗オープン ロコモ予防に巡回型エクササイズ

当協会では、県民の健康寿命の延伸をめざした構想の一環として、平成28年度からキャラバンフィットネス事業を展開しています。このたび、5月8日に世羅町小国店、5月11日に熊野店が新規オープンしました。昨年度オープンした早瀬店、安浦店と合わせ、県内4店舗で事業を展開します。

スタジオでは、運動器症候群(ロコモティブシンドローム)の予防につながる運動を取り入れたサーキット型エクササイズを提供しています。熊野店の運営協力団体である女性会代表の山野千佳子さんは、「オープン時に比べて、みなさんの姿勢が良くなり、マ

シンのスピードもアップし、運動する姿がすてきになっていきます。筋力をつけるためには継続することが大切だと思えます。」と効果を感じているようでした。

キャラバンフィットネスの利用には毎月2千3百円(税込)の会費が必要ですが、お近くの方は、ぜひ一度、無料体験をお試ください。  
(新事業開発課)



熊野店オープニングセレモニー(上)、小国店サーキットエクササイズ(下)

### 環境協 クリーンウォーク・環境の日ひろしま大会へ参加

#### ○ごみゼロ・クリーンウォーク

6月4日、市内11カ所から旧市民球場跡地を目指して歩きながらごみを拾う「ごみゼロ・クリーンウォーク」が開催され、約6,100人が参加しました。環境協は出発地点のひとつで、当協会職員約120人と近隣事業所、団体など合わせて400人が集まり、横川駅前や中央公園周辺でごみ拾いや雑草の除去を行いました。

『低炭素社会～家庭の省エネ行動～』をテーマに、平成29年度「環境の日」ひろしま大会が開催されました。当協会は、自転車発電機を使い電球を点灯させる『発電Myチャレンジ』で発電量を競う大会や、トイレトペーパーの芯でリユース工作『がんばれカーブ応援このぼり』を行いました。

『がんばれカーブ応援このぼり』は、工作コーナーの席が参加者でいっぱいになるほどにぎわいました。子どもたちは自由な発想で、カラフルなオリジナルのこのぼりを作りました。この日の体験で、地球環境を守ることを学び、『家庭の省エネ行動』につながることに期待したいと思います。

#### ○環境の日ひろしま大会

6月4日、広島県庁前広場で



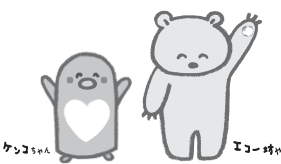
### 第56回環境保健夏季大学

日時:平成29年7月6日(木)～7日(金)  
受付開始:12:00～ 開講式:13:00～  
会場:ツネイシしまなみビレッジ  
(福山市沼隈町中山26-1)

主なプログラム:(予定)

- 【1日目】広島県の政策情報提供  
(美化活動・がん検診勧奨)  
分科会:重点メニュー活動交流
- 【2日目】組織力診断・話題提供  
分科会:これからの公衛協に必要な活動とは  
1万人の食チェック事業お楽しみ抽選会

### 平成29年度 地区衛生組織活動資金募集



通称  
『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成29年度で58回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金  
総額(円)

10,355,825



市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	742,000	44.5
海田町	989,981	41.3
熊野町	0	0.0
坂町	0	0.0
江田島市	0	0.0
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	767,380	30.3
廿日市市	2,538,900	74.9
廿日市市大野	0	0.0
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市宮島	0	0.0
安芸太田町	0	0.0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	0	0.0
安芸高田市	0	0.0
東広島市	0	0.0
三原市	1,081,560	61.2
世羅町	0	0.0
尾道市	602,200	13.4
福山市	3,565,350	40.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	0	0.0
庄原市	0	0.0
呉市	0	0.0
その他	68,454	124.0
合計	10,355,825	18.0

市町別一覧表

※この表は、平成29年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

#### 要綱を改正しました

平成29年4月1日付けで環境・健康募金の要綱を改正しました。2017年公衆衛生推進手帖に掲載している要綱(p.48,49)の修正シールを配布しています。該当ページに貼付してご利用ください。

#### 改正項目と内容

(主旨)  
募金活動を行いやすいよう、分かりやすい文章に改めました。

(募金の目標)  
戸口募金は一口50円を目標としていましたが、「募金の目標は、事業を行う地区衛生組織が定める」と改めました。

(募金配分方式)  
募金配分方法を文章で説明し、目標額を配分基本額と改めました。